

令和6年度全国学力・学習状況調査における
北九州市立 永犬丸 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、数学）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学）

教科に関する調査（国語、数学）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問調査

生徒質問調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

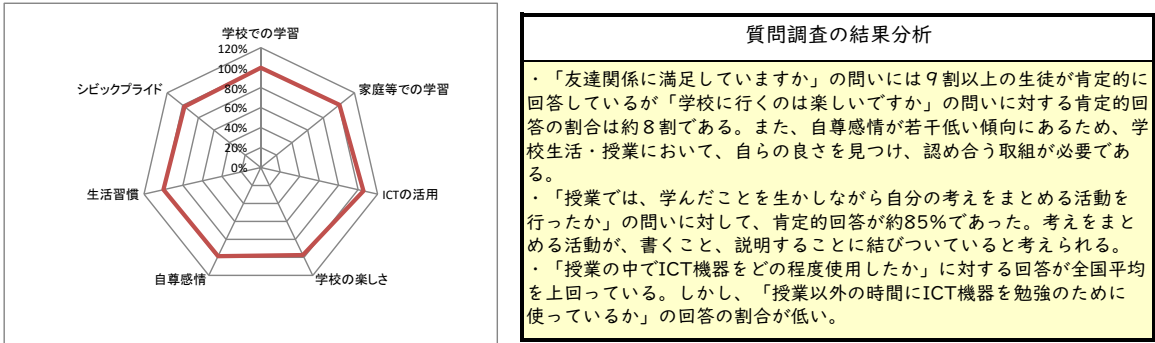
- (1) 全国・本市の学力調査（国語、数学）の結果

本年度の結果	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.5	57	7.8	49
全国	8.7	58	8.4	53

- (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	記述形式の問題の正答率が全国平均より約5ポイント上回っている。書くことに対して、粘り強く取り組めている。知識・理解の領域の「我が国の言語文化に関する事項」で全国平均を下回っている。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	文章を伝えるための工夫、表現の効果、要約など、書くことに関する問題。	
	努力が必要な問題	文章の全体と部分の関係を正しく捉える、情報を整理することに関する問題。	
数学	全体的な傾向や特徴など	記述形式の問題の正答率が全国平均より約13ポイント上回っている。全体的に全国平均を上回っているが、データの活用の領域で、全国平均を約20ポイント上回っている。関数、図形の領域も上回ってはいるが、努力が必要である。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	データの活用の問題、事柄が成り立つ理由について説明する問題。	
	努力が必要な問題	関数、図形、数量に関する問題。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ① 教科に関する取組

各教科で、授業の振り返りの充実努力している。授業を振り返り、習得した能力や学ぶ姿勢について表現しようとする意識を高め、考えをまとめる能力をさらに育みたい。ICT機器を授業以外の時間にも必要に応じて適切に使えるよう、自ら学び方を選択できる生徒の育成に務める。現在、故障の予防のためGIGA端末は持ち帰らせていないが、検討する必要がある。

- ② 家庭生活習慣等に関する取組

家庭学習については、毎週学年で統一した宿題を出すなどの取り組みを行っている。小中で連携し、永犬丸中校区の学習の約束については、現在検討中である。一貫して取り組めるものがあれば、中学校区で連携して家庭にもお伝えしていく。